

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター

所管課 環境・エネルギー部 自然共生推進課

指定管理者 公益財団法人キープ協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人キープ協会		H18.4.1	～	H21.3.31	3年	110,850,000
公益財団法人キープ協会 (H24.3.31までは財団法人)		H21.4.1	～	H26.3.31	5年	185,000,000
公益財団法人キープ協会		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	187,710,000
公益財団法人キープ協会		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	154,908,000
公益財団法人キープ協会		R5.4.1	～	R9.3.31	4年	156,972,000

2 施設の概要

所在地	北杜市大泉町西井出石堂8240-1
設置年月日	平成6年11月28日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター設置及び管理条例
設置目的	恵み豊かな自然の中で、自然環境に関する情報と学習の機会を提供し、もって本県の良好な環境の保全と継承に資するため。
主な業務の内容	(1)施設維持保全業務 ・施設及び設置器具の維持保全業務を行う。 (2)自然情報提供業務 ・八ヶ岳南麓の自然に関する情報の提供業務を行う。 (3)学習体験機会提供業務 ・自然環境に関する知識の習得のための体験学習の機会の提供業務を行う。
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 6,596㎡ ○建物面積 884㎡ ○建物の構造 鉄骨造(外周・下地木造)1階建 ○施設の内容 ・展示ホール、交流コーナー 236.34㎡ ・視聴覚ホール 196.38㎡ ・特別展示ホール 116.64㎡ ・園地(見本園等) 2,018㎡、自然観察路 1,270m ・駐車場、エントランス、事務室、機械室、倉庫等
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
収入合計	38,470,120	38,815,000	38,815,000	38,815,000	39,036,387	
支出合計	38,769,387	38,926,043	38,923,507	38,892,369	39,345,304	
収支差額	△ 299,267	△ 111,043	△ 108,507	△ 77,369	△ 308,917	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
利用実績	99,668人	40,798人	44,563人	76,520人	75,454人	入館者数
利用者 満足 者 度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和5年度)

やまなしグリーン・ゾーン認証制度終了後も、登録施設として自主的な感染対策を継続しつつ、予約制プログラムの定員を拡大する等、利用促進との両立に努めた。年間の総入館者数は75,454人で、前年度より微減となったが、コロナ拡大期と比較すると、堅調に推移したといえる。このうち、団体利用数は256団体、団体利用者数は11,593人と前年度より増加し、山梨県立八ヶ岳少年自然の家との連携等、県内小中学校の利用促進にかかる取り組みを進めた結果があらわれたとみる。

年度テーマとして「生物多様性」を掲げ、生物多様性の理解促進を図るべく、「いきものガイドウォーク」等、関連した自然体験学習事業を年間を通じて企画運営した。

落雷による設備不良等、施設・設備の不具合が度々発生したが、専門業者と速やかに原因究明を図り、所管課と協議の上、必要な修繕を進めた。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和5年度)

入館者数は目標である80,000人には届かず、前年度よりも入館員数は減ってしまっているものの、団体での利用数は前年度を上回った。

利用者アンケートによる満足度調査においても、施設全体の満足度は「満足」又は「どちらかといえば満足」となる者が80%を超え、前年と同様に高評価を得ることができた。

今後も、利用者のニーズに沿った事業運営を行いつつ、より利用者が充実した自然体験学習の機会の提供を望む。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和5年度)

新型コロナウイルス感染拡大防止として、「やまなしグリーン・ゾーン認証制度」の登録が5月までで終了してしましたが、登録施設として自主的な感染対策、チェックリストを用いて換気や消毒液の設置等の感染症対策に努めた。

環境配慮の推進ということで、「やまなしエネルギー環境マネジメントシステム」に準じ、省エネルギー化を試み、経費削減、環境への配慮への両立が図れた。光熱水費のうち、電気料については、基準額を下回ることができた。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター

所管課 環境・エネルギー部 自然共生推進課

指定管理者 公益財団法人キープ協会

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	入館者数	99,668	40,798	44,563	76,520	75,454
	(内、事業参加者数)	(17,482)	(6,040)	(11,837)	(23,025)	(21,877)
	利用者数合計	99,668	40,798	44,563	76,520	75,454
	目標値	100,000	100,000	100,000	100,000	80,000
	実績/目標割合	99.7%	40.8%	44.6%	76.5%	94.3%
	目標値の設定方法	・令和元～令和4年度:平成25～29年度の利用者数平均値 ・令和5年度:令和3年度利用者数の175%				
利用率	稼働率等(利用率)	343人/日	149人/日	156人/日	238人/日	234人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者人数/営業日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	北杜市オオムラサキセンター:展示室、視聴覚室等
----------	-------------------------

3 補修工事等の状況(令和5年度)

(単位:円)

管	太陽光発電設備モジュール交換工事 外10件	546,622
管	灯油タンク液面計交換工事	523,600
管	自然観察路等案内板撤去工事	158,400

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和5年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	環境教育関連教材の販売	一般	展示ホール
2	自然体験の快適性と満足度向上にグッズの販売	一般	展示ホール

7 利用者満足度

実施方法等	(1)実施時期:令和5年4月～令和6年3月 (2)実施方法: ①施設利用アンケート ②事業参加者アンケート (3)アンケート回収数:アンケート回収数と有効回答数は各項目に記載の通り (有効回答数/アンケート回収数)			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
展示内容(541/552)	87.8%	12.2%		
設備・備品状況(537/551)	80.1%	19.7%	0.2%	
利用者への接遇(549/553)	95.6%	4.4%		
催物・事業内容(471/471)	96.0%	3.6%	0.4%	
施設全般の満足度	91.3%	8.5%	0.2%	
利用者の主な意見	【意見等】 (展示内容等への意見) ・笹舟(草遊びの達人になろう)など本物の自然と関われる展示が良かった。 ・とても親切にいただき、子どもが充実した時間を過ごしていました。 ・生物多様性を実感すると、子どもにも優しくなれます。 (団体利用者からの意見) ・映像鑑賞の前のトークが分かりやすかった。 ・休館日にありがとうございます。おかげさまでゆっくり見学できました。 ・相談に前向きにのってくれて、協力してもらったのがうれしい。 (設備・備品状況への意見) ・トイレがいつもきれいでありがたいです。 【要望等】 ・夏はカブトムシなどが(展示で)あるとうれしい。 ・清里の森の、この10年の変化などが分かるとうれしい。			
利用者の意見への対応	【要望等への対応】 ・クワガタムシやアオダイショウの生体展示を新たに設置したほか、既存の生体展示の解説内容を更新した。 ・センターで毎日記録している天気や気温のデータをもとに、ホームページで、ここ10年の気象や気温の変化に関する情報を新たに掲載した。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>設備の法定点検や保守管理業務の一部は専門業者に委託し、管理基準に基づいて適切に行われたことを確認した。灯油タンク、消防設備等の不良が発生したが、所管課と逐次情報共有しながら、必要な修繕を行った。</p> <p>建物は築年数が経っているが、利用者の安全性と快適性を第一に、日常点検や定期的な美化に引き続き努めるほか、不具合を確認したときは、所管課と協議の上、速やかに修繕等の対応を図る。</p>	<p>業務計画書に基づき適正な維持管理が行われている。また、設備等の点検も日頃から実施できていることから、不具合が生じた場合には早期に対応するなど、利用者の安全性の確保に繋がっている。</p> <p>引き続き、適正な維持管理業務を望む。</p>
運営業務	<p>生物多様性の理解促進を図るため、生物多様性をテーマにした自然体験学習事業の企画運営に注力し、関連事業実施数は県が求めるサービス水準を上回ることができた。</p> <p>自然体験プログラムへの利用者からの評価は高いが、事業によって集客に差があるため、定員充足率を上げるべく、内容の改善や新規事業の企画立案等に努める。</p>	<p>季節の変化を強みに、その時期ならではのセルフプログラムを設置するなど、利用者の利用状況を踏まえながら内容を改訂し、利用促進を図るなど、さまざまな角度から集客を行うことは高く評価できる。</p> <p>参加者の満足度も高い評価を得ているため、今後もより魅力的なサービスの提供を期待する。</p>
利用状況	<p>やまなしグリーン・ゾーン認証終了後も、自主的な感染対策を継続し、利用促進と感染対策との両立を図った。入館者数は前年度より微減となったが、コロナ拡大期と比較すると堅調に推移した。自然観察路改修等をPR材料に、刷新したHPやSNSを通じて、引き続き県内外に情報発信し、利用者増加を図っていく。</p>	<p>1日の平均入館者数は減ったものの、利用団体数は大幅に増えた。また、SNS等を活用し、イベント情報や自然情報を随時投稿し利用促進に注力し、11月からインスタグラムでの投稿も開始しているため、更なる利用者層の拡大にも期待する。</p>
収支状況	<p>科目によっては予算対比で増減があったが、全体ではほぼ予算通りに執行できた。このうち委託費の増加は、再委託先の人件費高騰等による。これを受けて、報償費や消耗品費の削減を講じた。</p> <p>省エネルギー推進に取り組んだ結果、光熱水費のうち、電気料については基準額を下回ることができた。</p>	<p>ほとんどの科目が予算計画に沿って支出が行われていた。また、電気料についても省エネルギー推進に取り組み、基準額を下回ることができた点も評価できる。</p> <p>今後においても修繕等が必要な箇所が増加が見込まれるため、引き続き経費削減に努め、計画的な予算執行を望む。</p>
自主事業	<p>環境教育関連教材や自然体験の快適性や満足度向上を目的としたグッズの販売を年間を通じて行った。キャッシュレス決済の運用や、商品入れ替え等により、前年度より収入増となった。</p>	<p>自然体験の快適性や満足度向上を目的としたグッズ、ポストカードやぬいぐるみ等小物類を販売、また、キャッシュレス決済の導入などを実施。</p> <p>利用者の更なる利便性向上、満足度向上に期待したい。</p>
利用者満足度	<p>アンケート結果のうち、「施設全般の満足度」は前年度に続き「満足」の回答が9割以上で推移した。</p> <p>また「利用者の接遇」「催物・事業内容」のポイントが高く、この水準を維持できるよう、利用者の意見や要望を踏まえて、サービスの向上や事業の改善に取り組む。</p>	<p>利用者満足度の各項目で「満足」と答えられる方の割合が80%以上と高く、日々提供するサービスが質の高いことを表しており、評価できる。</p> <p>今後においても利用者の意見・要望を踏まえ、今のサービス水準を維持していただくことを望む。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

9 施設所管課による定期評価結果

施策推進業務の内容	評価	改善内容
<p>自然環境学習の機会の提供を目的とした自然体験プログラムへの参加促進</p>	<p>コロナ前のH29～R1年度の平均実績1,850人に110%を加算した値に前年度の減少率59%を加味した値を目標とし、目標値を834人に設定。 実績は1,369人と目標を達成することができた。</p>	<p>今後も自然体験プログラムへの参加を促進するとともに、SNS等を活用した情報発信の強化、周知をすることで施設利用者以外への自然環境教育の機会の充実を図る。</p>
<p>小中学校の総合学習や社会教育の場などの提供を行うことを目的とした団体利用の促進</p>	<p>H29～R1年度の平均実績に110%を加算した値を目標とし、目標値29校に設定。 実績は37校と目標を達成することができた。</p>	<p>今後もより多くの県内小中学校等へ働きかけ、小中学校等のニーズに合致したサービスを提供することなどにより、県内小中学校等の利用を促進する。</p>
<p>自然環境や文化、生物多様性の普及を目的とする館内展示の増加</p>	<p>毎月2展の新規展示(新型コロナウイルス感染症による休館を加味)を目標とし、目標値22展に設定。 実績は60展であり、目標を大きく達成することができた。</p>	<p>今後は特定外来生物等の生物多様性の館内展示をより充実させ、自然環境についての理解を深める機会を拡大していくこととする。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和5年4月1日現在

